

教科	算数	単元名	さんかくやしかくの形をしらべよう
----	----	-----	------------------

本時のねらい

- ・三角形と四角形を分類できる。
- ・三角形や四角形を並べて、いろいろな形を表現できる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・並べる三角形と四角形は紙を用いて作るが、作った形を写真に残すことで自分の記録として残したり、それをもとに他の児童と交流したりできる。
- ・三角形と四角形の分類をタブレット上で行うことにより、試行錯誤が容易に行える上、自分でわかりやすく整理できる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を並べて、いろいろな形を作ることを確認する。 ・本時のめあてを確認する。 「ならべて作ろう」 <p style="text-align: right;">【写真 1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート内のどのノートを使うのか、どのように写真で記録するのかを伝える。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と四角形を並べて、指定された形を作り写真で記録する。 ・早くできたら、自分で好きな形を表現し、写真に撮って提出する。 ・友だちが作った形を自分も作る。 <p style="text-align: right;">【写真 2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できた形を、ロイロノートの提出機能を用いて提出させる。 ・提出画面を活用し、他の児童が作った形を参照させる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・出た形の間分けをし、三角形と四角形の定義を確認する。 <p style="text-align: right;">【写真 3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤ができるようにロイロノート上で間分けをさせ、分けた理由も記入させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】三角形や四角形を並べて形を作り、写真に記録することを確認している場面



【写真 2】作った形を記録している場面



【写真 3】試行錯誤しながら、形の間分けしている場面

児童生徒の反応や変容

- ・写真に撮ることで形を作ったことの達成感がうまれたとともに、気持ちを切り替える区切りとなってスムーズに次の図形に移ることができた。
- ・友だちと作品を共有することで、作ってみたいという意欲が高まった。
- ・形の間分けでは、紙を扱うときよりも、タブレット上で効率よく分けることができ、考えることへの意欲に繋がっていた。
- ・授業後にも、恐竜のような大型の形を表現するなど、創造的な活動にも繋がった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・気に入った形を写真に撮り、保存することで、形を崩すことへの抵抗感が軽減でき、次の行動ができる。
- ・タブレット上で図形を移動させたり整理したりすることで、紙がなくなったりしてしまうことによるストレスを感じる事がなくなる。